

レガシィのリコールについて

平成20年9月18日

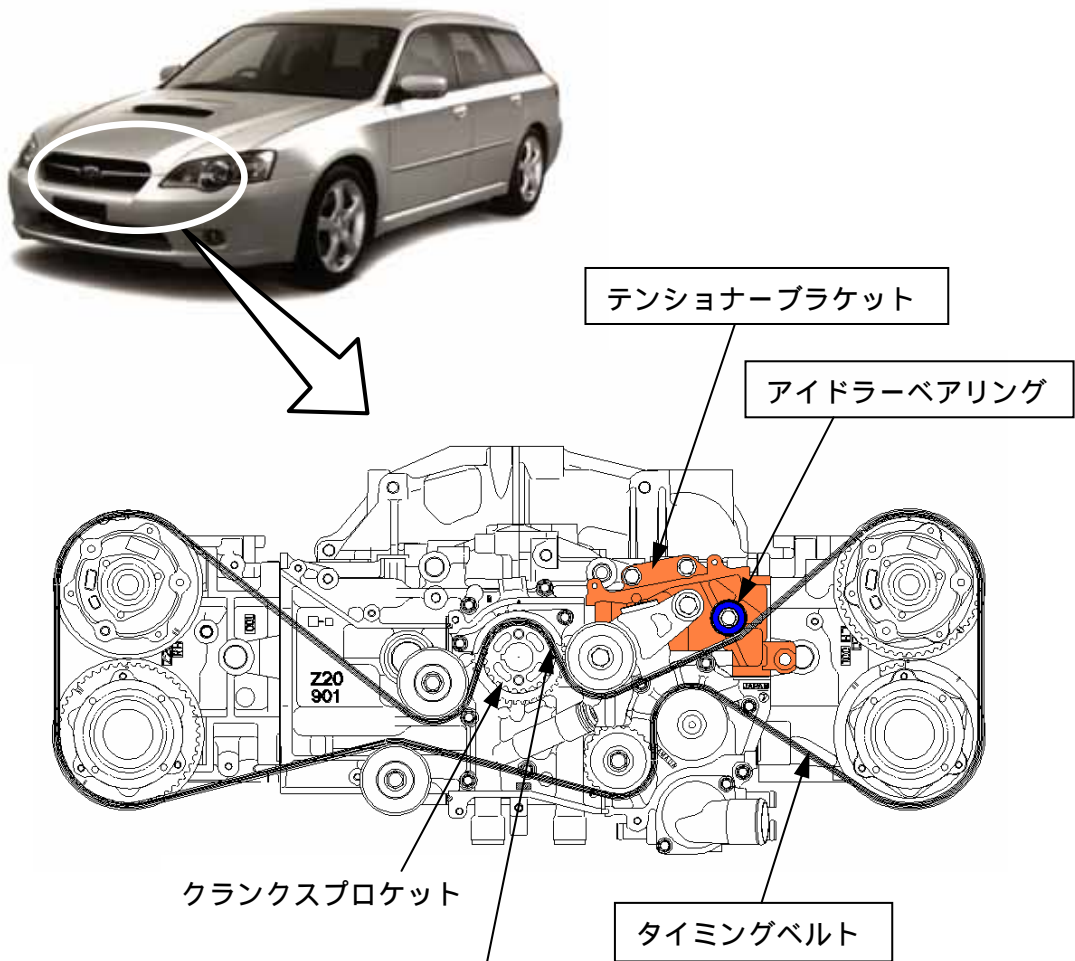
平成20年9月18日、富士重工業株式会社より、国土交通省にレガシィのリコールを届け出いたしました。

リコール届出番号	2175	リコール開始日	平成20年9月19日
不具合の部位(部品名)	原動機(タイミングベルト)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	ターボ付きの手動5速ミッション車において、エンジンのタイミングベルトの張力調整装置(テンショナー)の取付部の剛性が低いため、当該ベルトの振動が大きくなる場合がある。そのため、ベルトとクランクプロケットの噛み合いが不均一になり、ベルトが損傷し、そのまま使用を続けるとエンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	全車両、タイミングベルトを新品に交換するとともに、テンショナーブラケットとアイドルベアリングを対策品と交換する。		
不具合件数	18件		
発見の動機	国土交通省からの指摘および市場からの情報による。	事故の有無	0件
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者:ダイレクトメール、直接訪問又は電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:日整連発行の機関誌に記載する。 ・改善実施済車には、運転席側ドア開口部のドアロックストライカー付近にNo.2175のステッカーを貼付する。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
スバル	TA-BL5	レガシィ	BL5-002044~BL5-018374 平成15年5月12日~平成16年3月30日	2,202	
	TA-BP5		BP5-002137~BP5-041689 平成15年4月24日~平成16年3月31日	3,181	
	(計2型式)	(計1車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成15年4月24日~平成16年3月31日	(計5,383台)	

対象車の車体番号及び製作期間の範囲には、対象にならない車体も含まれる場合がありますので、詳しくは最寄りの販売店にお問い合わせください。

改善箇所説明図



基準不適合発生箇所

ターボ付きの手动5速ミッション車において、エンジンのタイミングベルトの張力調整装置(テンショナー)の取付部の剛性が低いため、当該ベルトの振動が大きくなる場合がある。そのため、ベルトとクランクプロケットの噛み合いが不均一になり、ベルトが損傷し、そのまま使用を続けるとエンジンが停止して再始動できなくなるおそれがある。

改善内容

全車両、タイミングベルトを新品に交換するとともに、テンショナーブラケットとアイドラーベアリングを対策品と交換する。

識別

タイミングベルトカバー上部に白ペイントを塗布する。

注: は交換部品を示す。

リコール対象車の主要諸元

車名	型式	通称名	種別・用途	車体の形状	原動機の型式(総排気量(cc))	備考
スバル	TA-BL5	レガシィ	普通・乗用	箱型	EJ20(1994)	
	TA-BP5			ステーションワゴン		